

事務事業名	ひまわり公園管理運営事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連				
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課		
施策名	計画 24	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成		所属係	生涯学習班	課長名	野本立一		
基本事業名	体系 92	文化財に触れる機会の提供		担当者名	仁田 真由美	電話番号 (内線)	242-1190 2432		
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 07	事業	文化財保護事業			
					法令根拠	文化財保護法			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 7 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) ①ひまわり公園の貸出 ②ひまわり公園の適正な維持管理 (業務の内容) ①ひまわり公園使用許可申請書の受理、利用登録、使用料の受領 ②ひまわり公園の芝管理・樹木剪定の委託。業者選定、入札、契約、発注、検査、支払い。 ※②に関しては19年度以降実施予定。						総投入量	財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	
							人件費計 (B)	0	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

ひまわり公園の貸出および維持管理

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度の業務内容に加え、ひまわり公園芝管理・樹木剪定の委託

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

①市民

②ひまわり公園

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

①郷土の歴史を身近に感じ学ぶ機会を得ると共に、憩いの場として安全かつ快適に利用できる

②適正に維持管理される

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

多くの文化財を知り、触れることができる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 公園利用申請件数	件
イ 公園利用料金	円
ウ 公園の手入れ回数	回

➡

名称	単位
ア ①市民	人
イ ②ひまわり公園	m ²
ウ	

➡

名称	単位
ア ①延べ利用人数	人
イ ②苦情対応件数	件
ウ	

➡

名称	単位
ア 合志市の歴史・伝統・文化に触れている市民の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,130	1,130	1,154	1,665	1,600	1,600
	事業費計 (A)	千円	1,130	1,130	1,154	1,665	1,600	1,600
	正規職員従事人数	人	4	4	5	4	4	4
	延べ業務時間	時間	300	300	300	158	158	158
	人件費計 (B)	千円	750	750	1,191	627	627	627
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,880	1,880	2,345	2,292	2,227	2,227
活動指標	ア 件		50	50	80	80	80	80
	イ 円		43000	43000	48000	48000	48000	48000
	ウ 回		8	8	8	8	8	8
対象指標	ア 人		51000	52000	53626	54000	54000	54000
	イ m ²		6615	6615	6615	6615	6615	6615
	ウ							
成果指標	ア 人		9000	9000	12000	12000	12000	12000
	イ 件		2	2	2	0	0	0
	ウ							
上位成果指標	ア %		未実施	未実施	未実施	60	65	65
	イ							
	ウ							

合志市

事務事業名	ひまわり公園管理運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成6年度の整備完了に伴い事業開始。
郷土の歴史を学ぶと同時に、地域住民の憩い・活動の場を提供・管理することを目的として事業を始めた。。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
利用者においては変化は見られない。
公園内に建てられた堅穴式住居は、経年による老朽化や台風被害により劣化しつつあるため、数年に一度、大規模な修繕事業が必要となっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
とくに聞いている

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ①市民の運動及び憩いの場にするにより、地域住民の活動の場として活用できることに結びつく。 ②適正な維持管理を行うことで、市民が安全快適に利用が出来ることにより、地域住民の活動の場として活用できることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市民誰もが利用することができる。 文化財は、歴史や文化等の正しい理解のために不可欠なものである。 その保存及び活用を図ることは、文化の向上・発展に極めて重要であることから、行政の任務であるといえる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 周知の徹底により来園者増加を図り、郷土史学習の推進に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 周辺住民の学習・憩いの場の消失につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 歴史公園および憩いの場として他には無い2つの性質を持っており、独自性があるため、他事業との統合は考えにくい。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 維持管理について、他の施設等における同様の事業とあわせて発注することで経費を削減を目指すことができる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人件費で管理運営している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公園の専用については、利用料金を芝生広場半面を1時間100円で貸し出している。 また、市外居住者の利用料金は、市内のその2倍となっている。

合志市

事務事業名	ひまわり公園管理運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

- ・周知の徹底により来園者増加を図り、郷土史学習の推進に努める。
- ・維持管理について、他の施設等における同様の事業とあわせて発注することで経費を削減を目指すことができる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

ひまわり公園の存在やその特徴について、周知が行き届いていない側面も見られる。ホームページや広報による施設紹介や、資料館講座での活用促進により、その利用価値を高める必要がある。また、維持管理費については身近に有る他施設の維持管理とあわせて発注するなど、コスト削減の余地があると考えられる。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

課の隔たりを越えて類似施設の維持管理を横断的に実施し、事業費を大きく削減していく必要があると思われる。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項